

① 自然にしか出来ないこと
② ひとにしかできないこと

護 [ごみ] 美を心に。

株式会社タカノではクリエイティブな環境事業を展開します。
そして、これからの時代を担う若手アーティストたちをサポートします。

<http://www.takano1153.com>

☎ 0120-177-530

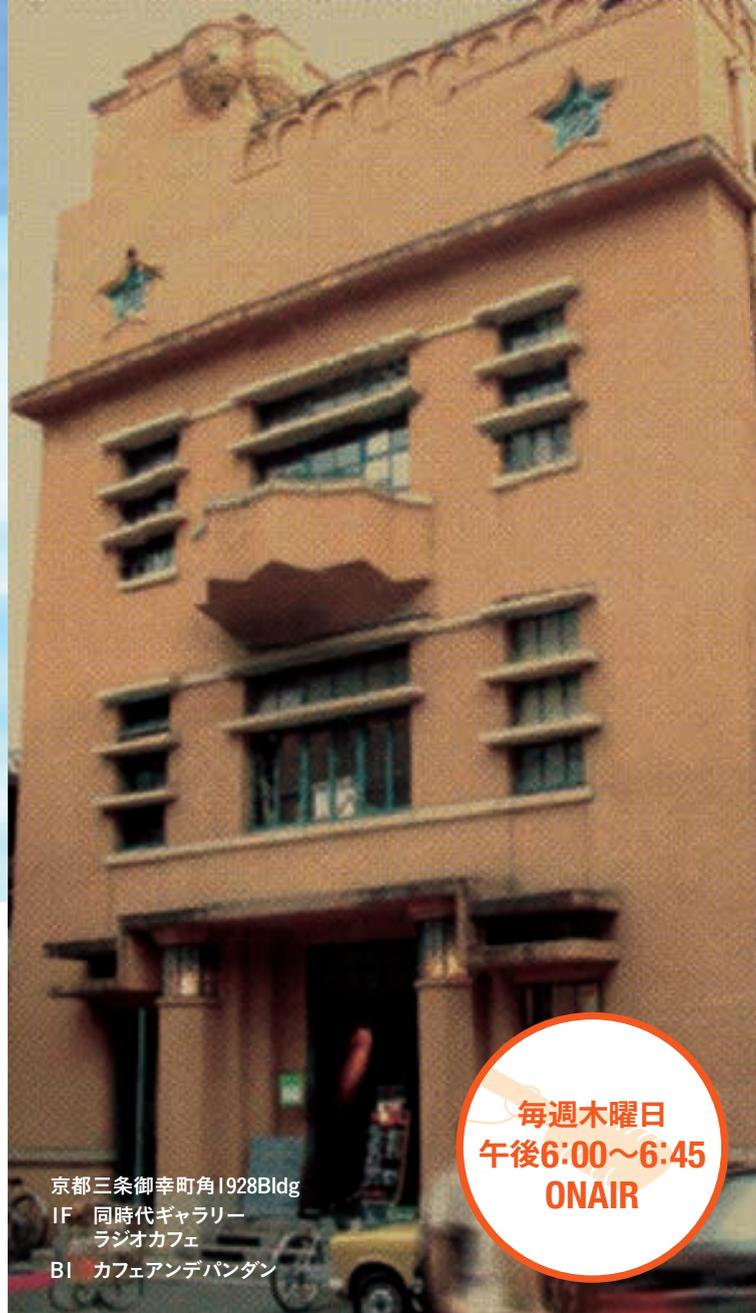
本社 京都府向日市上植野町南淀井17番地
長岡京支店 京都府長岡京市神足落述1番地



エコの森 京都で、 食品廃棄物が 生まれ変わる。

<http://www.economori.com>

●平成21年度食品リサイクル推進環境大臣賞受賞



京都三条御幸町角1928Bldg
1F 同時代ギャラリー
ラジオカフェ
B1 カフェアンデパンダン

毎週木曜日
午後6:00~6:45
ONAIR

今月の表紙

-Collecting Time in Genève- 大和由佳・岡本高幸 展
2015.1.6(tue)-1.13(sun) 同時代ギャラリー

同時代ギャラリーとスイス・ジュネーブの芸術家組織Cheminée nordが隔年毎に相互で行うアーティスト・イン・レジデンス。2014年9月26日~10月11日に、ジュネーブでの第11回展として企画展「Collecting Time」が開催されました。同時代ギャラリーが公募で選んだ大和由佳と岡本高幸がジュネーブにて滞在制作しました。本展はジュネーブでの制作作品を中心に展示します。

FM
79.7
MHz
きょうと
京都三条
ラジオカフェ
これからラジオ

<http://kyotokorekara.jp/top/>

Vol.66



第1 木曜日は環境

きょうとこれからラジオ

本日のゲストは町屋ギャラリーbe京都 岡元麻有さん、フリーペーパー「京都いいとこマップ」を制作されている印刷会社グラフィックの北村友紀さんです。「be京都(ビ・キョウト)」は200年以上の歴史がある京町家を改装したレンタルギャラリー&レンタルスペース(同志社大学新町校の北に位置、門跡寺院「光照院」に隣接)。be京都は文化・芸術・活動のコミュニティスペースとして様々な文化・芸術・活動が持続、継続されています。12月20日(土)21日(日)@be京都にて、京都いいとこマップ10周年記念イベント「手のひらサイズの京都」が開催されます。

ゲスト▶▶ 町屋ギャラリーbe京都 岡元 麻有 様
株式会社グラフィック 北村 友紀 様
パーソナリティ ● 太田航平 / 高野中也



第2 木曜日はミュージック

きょうとこれからミュージック

今月のゲストは、ハッピーなサウンドが魅力のスリーピースバンド、シンガロンパレードのみなさん。ライブバンドらしい、瞬発力のあるトークで番組を盛り上げてくれました! 「ゆうまのイチオシ!」コーナーでは、「リュウジと中村佳穂とちくわ」の楽曲をオンエア。また、竹上久美子が球団歌を担当する女子野球チーム「ウエストフローラ」の女王決定戦優勝を祝い、久々に球団歌「ドリームソング」もオンエアします。盛りだくさんの内容ですので、ぜひ聞いてくださいね!

ゲスト▶▶ シンガロンパレード 様
パーソナリティ ● 竹上久美子
アシスタント ● かわはらだゆうま



第3 木曜日はスポーツ

これスポ



皆さまこんにちわ。いよいよ平成26年最後の月となりましたね。今年も、泣いたり笑ったりと色々ありましたがこうして今を迎えられているということは無事だったということです。全てに大感謝ですね。12月のゲストに、サンガGMの祖母井さんをお招きして今年のサンガを語っていただきました。来期に向かって祖母井さんがなされてこられたことが継承されることを祈ってます。自然界ではほっておいても春は来ますが、サンガの春は選手だけではなくサンガに関わる全員が自ら強烈な願望を持たなければ訪れません。春が早く来ることを祈って!!一年間お聴きいただきましてありがとうございました。今年もゲストの皆さまに素晴らしい言葉をいただきました。私たちも振り返って反省し来期に継承してゆきたいと思ひます。これからもよろしくお願ひいたしますm(_)_m 素晴らしい新年をお迎え下さいね(*^v^)

ゲスト▶▶ 京都サンガGM 祖母井 秀隆 様
パーソナリティ ● 林幸佳 / 高野尚赫 / 岡田勇人(京都サンガ運営広報部)



「これソン」 12月のこれソン

ペイズリーフェザント
「The Man in The Moon」
です。

第4 木曜日はアート

WIND UP ART KYOTO アートJO談

今月のゲストは、ドイツロストック市での、アーティストinレジデンスプロジェクト招聘作家として、約1ヶ月間の滞在制作を終え、帰国されて間もない、京都出身の現代作家、中村孝平さんをお迎えしてお話を伺いました。還暦を超えて増々、創作意欲旺盛。海外での評価高く70代から氏の作品タイトルになった「being・not being」(有在・無在)は、生きる事の意味を考える際の導きのテーマとしても多方面で話題にされています。表現者としての時間的自由を確保する為、教職を辞す。今回のドイツロストック招聘を機会に画塾も閉められ、これからは制作活動に専念するという人生設計に、考えさせられるところ大となったインタビューでした。

ゲスト▶▶ 現代美術作家 中村 孝平 様
パーソナリティ ● 石田 浄 ART FORUM JARFO

